

ドキュメンタリー映画
Amazon 配達員—送料無料の裏で
上映会

日時 3月22日(日) 午後2時～3時30分
 会場 プリモホールゆとろぎ講座室1
 定員 50人(申込順)
 企画・運営 羽村市消費者の日実行委員会
 申込み・問合せ 3月2日(月)午前9時から、右の二次元コード、Eメール、電話、ファクスまたは直接、消費生活センター☎640へ
 ✉s107000@city.hamura.tokyo.jp
 FAX 555-5535



インターネット通販での「送料無料」や「翌日配達」。このような便利さを支える現場では、見えにくい負担や課題があります。

上映会を通じて、現場の実情を知り、消費者の選択が社会に与える影響や、私たちに何ができるのかを共に考えます。



▲申込みはこちら(市公式サイト)



さまざまなことにチャレンジしているはむらのすごい人を紹介!

なかやま たから
中山 高空 さん (13)



東町囃子保存会期待の星。昨年11月には、後輩指導に意欲的に取り組む「模範青少年」として、市から表彰された。野球と肉料理とお母さんのミネストローネが好きな中学校1年生。

——お囃子の活動の中で、模範青少年として表彰されましたね
 生まれて初めて表彰されて、嬉しかったです。後輩を指導するというよりは、小さい子の方から絡んでくれるので楽しく相手をしている感じです。
 ——お囃子を始めたきっかけは
 はつきり覚えていないけれど、両親もお祭り好きで、自分は2歳くらいの時からそれについていきました。もともとお祭りが好きだったから、すぐにハマりました。
 ——今では妹さんも含め家族全員でお囃子を楽しんでいるそうですね
 が、どんなところが好きですか
 あのリズムが好きです。お囃子はリズムミカルな音楽だと思います。始めたばかりの頃は知らないことがたくさんあって、何でも楽しかったです。それから、会の人みんな優しくして交流が盛んなところも好きです。
 ——お囃子のリズムは独特で難しいそう。人前に立つにはかなり練習が必要なのでは
 お客さんの前で踊るようにしたのは3歳、太鼓は11歳からです。今も週に1回稽古に來ています。野球もやっています。忙しいけれど、時々家でも練習します。初めの1年くらいは基礎になる『文句』を暗記しました。『文句』と



▲東町の山車で太鼓をたたいた中山さん

いうのは、太鼓のたたき方を「テレクテン…」という調子にして覚える楽譜みたいなものです。これがちゃんとできないと、ほかの人とうまく合わせられません。
 ——お囃子は『ぶっこみ』から始まって『二の切』『三の切』『中の切』『三の切』を繰り返したり組み合わせたりして演奏します。難しいと思うのは、太鼓のたたき方がそれぞれ微妙に違うところです。
 ——演奏するときに気を付けていることはありますか
 太鼓をたたくときは周りの人が合わせやすいように『文句』通りに、ニンバ(ひよっこ)などの踊りを踊るときはメリハリをつけるように気を付けています。あとは、来てくれた人に楽しんでほしいという気持ちでやっています。
 ——お囃子をこれからも続けていきたいですか
 お囃子をやる大人はとてもカッコいいし、自分も続けていきたいです。お囃子は伝統芸能で昔から受け継がれてきた大事なものです。スマホとかとは違う楽しさもあるから、守って伝えていきたいです。



広報はむらは再生紙を使用しています